

目 次

I	研究の目的	1
II	研究の過程	1
III	調査の概要	2
1	調査の目的	2
2	調査方法	2
3	調査対象	2
4	調査人数	2
5	調査期間	2
6	調査項目	3
7	分析の方法	3
(1)	分析の方法	3
(2)	数値の取扱い及び図表について	3
IV	結果の概要	4
1	Student First (児童・生徒調査から)	4
2	Smile Teacher (教員調査から)	5
3	See gap and relation (児童・生徒調査と教員調査から)	6
4	Study Homework (家庭学習力の重視・習慣化)	8
5	School Management (学校・綾瀬市の取組みとして)	8
V	結果と考察 (第1部)	10
1	Student First (児童・生徒調査から)	10
(1)	①【学習形態】、②【学習形態の好悪】	10
(2)	③【学習状況に認知】、④【学習状況に効用度】	14
(3)	⑤【学習の自己評価】	20
(4)	⑥【学習上の悩み】	23
(5)	⑦【普段の家庭生活の時間の使い方】	26
(6)	⑧【家庭生活の状況】、(7) ⑨【家庭での学習について】	28
2	Smile Teacher (教員調査から)	31
(1)	①【学習形態】、②【学習形態の好悪】	31
(2)	③【指導状況の自己評価】	35
(3)	④【児童・生徒の学習状況の評価】	38
(4)	⑤【学校外の取り組みの指導】	41
(5)	⑥【宿題の取り組みについて】	43
(6)	⑦【学習指導上の悩み】	45

3	See gap and relation (児童・生徒調査と教員調査から)	4 7
(1)	①【学習形態(児童・生徒)】、①【学習形態(教員)】	4 7
(2)	②【学習形態の好悪(児童・生徒)】、②【学習形態の好悪(教員)】	5 1
(3)	③④【学習状況に認知・効用度(児童・生徒)】、③【指導状況の自己評価(教員)】	5 5
(4)	⑤【学習の自己評価(児童・生徒)】、④【児童・生徒の学習状況の評価(教員)】	6 1
(5)	⑦⑨【普段の家庭生活の時間の使い方(児童・生徒)】、⑤【学校外の実践の指導(教員)】	6 6
V	結果と考察 (第2部)	7 2
4	Study Homework (家庭学習力の重視・習慣化)	7 2
5	School Management (学校・綾瀬市の取り組みとして)	7 9
VI	総合的なまとめ	8 3
1	確かな学力の向上に向けた取り組みについて	8 3
2	終わりに	8 5
	<引用・参考文献>	8 5
資 料		
・調査用紙		
	児童・生徒用 ----- 調査用紙	1
	教員用 ----- 調査用紙	1 1
・調査項目一覧		
	児童・生徒用 ----- 調査項目一覧	1
	教員用 ----- 調査項目一覧	3
・基礎集計表		
	児童・生徒編 ----- 基礎集計表	1
	教員編 ----- 基礎集計表	1 5
コラム		
	・子どもの好きな教科	9
	・世界の中の日本の学力	1 9
	・ミニ言語活動のアイデア	2 2
	・予習をやってみよう!!	3 0
	・主体的・対話的で深い学びの実現とは?	4 0
	・子どもの平日の学習時間	4 4
	・学校は協働的な学習を意識	6 5
	・自学ノートを活用	7 1